

病害虫防除所情報 第1号

令和7年4月23日

山梨県病害虫防除所

【果樹カメムシ類の防除対策について】

[発生状況及び今後の見通し]

ア 定点調査ほ場におけるフェロモントラップへのチャバネアオカメムシ（図1）の誘殺数は、甲州市で平年並となっているが、南アルプス市では多い。（図2）。

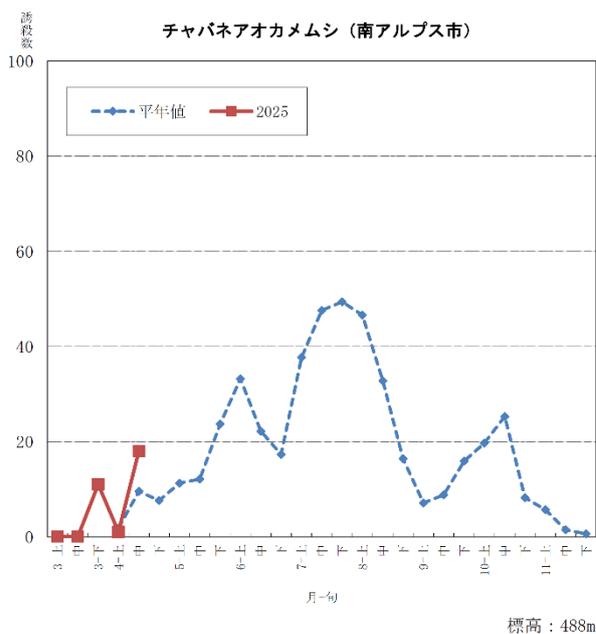
イ 前年は、夏から秋にかけての発生が多かったため、越冬量も多いことが見込まれている。（図3）このことから今年の春の果樹園への飛来量が多くなるおそれがある。

ウ 気象庁4月17日発表、向こう1か月予報によると、気温は高く、降水量は平年並か少ない見込み。果樹カメムシ類は気温の上昇とともに活動が活発化することから注意が必要である。

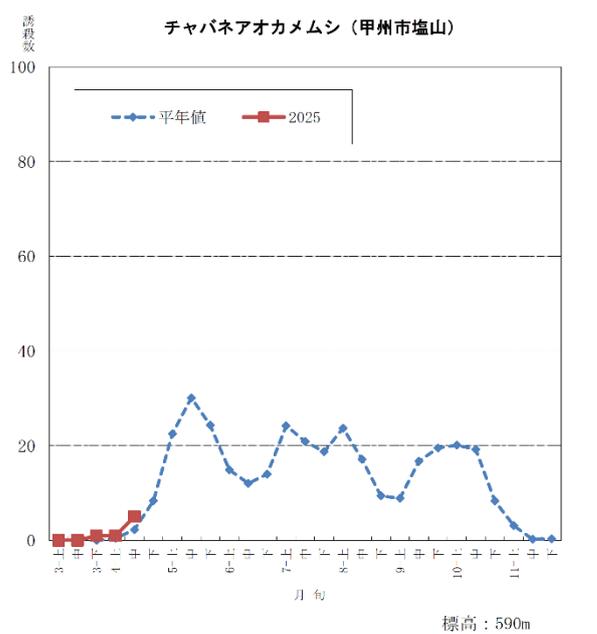


図1 山梨県で発生する主な果樹カメムシ類

（左：チャバネアオカメムシ 中：クサギカメムシ 右：ツヤアオカメムシ）



平年値はH27～R6の平均値



山梨県病害虫防除所調べ

図2 今年の発生状況

表1 カメムシ類に登録のある主な農薬

分類	RAC	薬剤名	適用作物名						
			希釈倍率、使用時期／本剤の使用回数						
			スモモ	モモ ネクタリン	オウトウ	ブドウ	カキ	ナシ	リンゴ
合成ピレスロイド系	3A	テルスターフロアブル	※※ 3000倍 前日まで／2 回以内	3000倍 前日まで／2 回以内	4000倍 前日まで／2 回以内	—	3000倍 3日前まで／ 2回以内	3000倍 前日まで／2 回以内	3000倍 前日まで／1 回以内
	3A	アディオン乳剤	—	2000倍 7日前まで／ モモは6 回以内 ネクタリン は3回以内	—	—	2000倍 7日前まで／ 5回以内	2000倍 前日まで／2 回以内	—
ネオニコチノイド系	4A	スタークル／アルバリン顆粒水溶剤	※※ 2000倍 前日まで／3 回以内	2000倍 前日まで／3 回以内	2000倍 前日まで／2 回以内	2000倍 前日まで／3 回以内	2000倍 前日まで／3 回以内	2000倍 前日まで／3 回以内	2000倍 前日まで／3 回以内

※スモモなど果実汚染、果粉溶脱が懸念される樹種では薬剤選択には注意する。

※※小粒核果類登録。